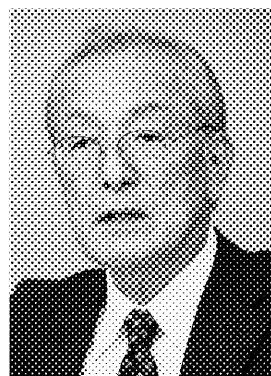


丸文社長

飯野 亨氏

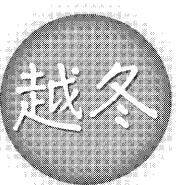
—現在の半導体市況について教えてください。

「在庫調整局面であり、回復には時間を要する。ドル金利上昇に伴う支払利息の増加により、2025年3月期は減収営業減益を予想する。システム事業は航空・防衛関係の案件が増加したが、自動車や民生などの需要が低下した」



—市況の回復時期の見通しは。関連では強気な見通しをもっている。全体と復の遅い産業機器の顧客客だった。26年3月期から開始する次期中期経営計画が、自己資本利益率

ぐのしえ耐 半導体商社



—事業環境について教えてください。

「ITやデジタル変革(DX)への設備投資は堅調で、環境は決して悪くない。利益の圧迫要因は為替の変動だ。海外からの仕入れが50%程度あるので、

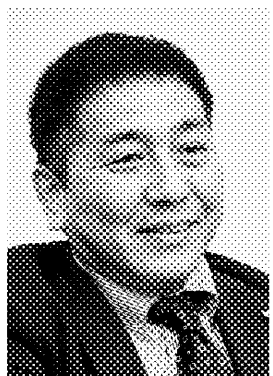
「ITやデジタル変革(DX)への設備投資は堅調で、環境は決して悪くない。利益の圧迫要因は為替の変動だ。海外からの仕入れが50%程度あるので、変動が大きいとどうして影響が出る。価格転嫁や為替予約などの財務的な手当てをして

最先端電子技術にこだわる

(小林健人(火・金曜日)掲載)

工場のサイバー対策狙う

針だ。—25年度からは新中期経営計画が始まる予定です。



「クラウドシステムが好調で、専門人材の確保が難しくなっている状況が好調の背景だ。25年度以降はITベンダーとも協力をし、サイバーセキュリティ分野を伸ばす。参入するプレ

高千穂交易社長

井出 尊信氏

「中国では現地企業売上高比率を高める方では